

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2021年10月11日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	加西市	代表者名	西村 和平		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0790-42-8703		
担当者役職	係長	担当者氏名	馬渡 隆行	連絡先E-mail	
住所	675-2395 兵庫県加西市北条町横尾1000番地				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	デジタル化を進めるときにアナログと比較する場面がしばしば出てくるが、アナログの方が高コストであるということを改めて考えさせられました。
アドバイザーへの要望事項	引き続き加西市のDX推進に対してご助言、ご協力いただきたい。これまでは加西市の状況をお伝えし、ともに考えるフェーズでしたので、今回の講演会でより多くの職員がDXを自分事としてとらえてもらえるような話を期待しています。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月6日	10時00分	12時00分		120
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	12人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	庁内のDX推進に関して、チーム結成、計画やビジョンの策定および提示をして一気に進めようとしているが、そもそもデジタル化を進めていく、今の業務の進め方などを変えていく必要性を肌で理解していない職員が多数いると想定している。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	多くの職員がDXを自分事としてとらえ、各自で業務改善に足を踏み出せるようにしていきたい。さらには部署間で横串を通すことで、全庁的な流れを作っていく。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	サービスデザイン、危機意識、BPRなどのエッセンスを交えながら講演で話をさせていただくことで、DX推進の機運を高めてキャズムを超えていきたい。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	アナログが高コストである、と改めて認識をすることで、デジタル化の必要性を再確認できたこと。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	庁内職員に対する研修を10/20に開催することで調整済。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演は10月実施予定	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。